

報道関係者各位

2022年12月16日

IQVIA ジャパン グループ 京都大学医学部附属病院と 再生医療開発分野に特化した Site Network での連携を開始

- **IQVIA Cell And Gene Therapy Site Network (以下 IQVIA CAGT site network) へ、再生医療の開発を世界でリードしている京都大学医学部附属病院 早期医療開発科 (次世代医療・iPS 細胞治療研究センター：Ki-CONNECT) が参加することで連携を開始**
- **24 の国・地域で 160 カ所以上の再生医療開発分野で実施体制を整えている治験施設をネットワーク化。再生医療分野におけるグローバル治験を円滑に実装するための仕組みを整備**

IQVIA ジャパン グループは、このたび京都大学医学部附属病院 早期医療開発科 (次世代医療・iPS 細胞治療研究センター：Ki-CONNECT) が「IQVIA CAGT Site Network」の枠組みに参加したことを発表します。IQVIA CAGT Site Network は、再生医療分野で臨床試験を実施するための経験、資格、リソースを有し、IQVIA 独自の IQVIA CAGT Site Network 施設の要件を満たした治験施設をネットワーク化しています。

IQVIA CAGT Site Network は現在までに 24 の国・地域で 160 カ所以上の治験施設を擁しており、質の高い再生医療関連のグローバル試験をスピーディーに円滑に進めるための仕組みを整えています。今回の連携により、再生医療分野に特化した IQVIA の強みで iPS 細胞を含む細胞・遺伝子治療試験へのグローバルネットワークを強化していきます。

再生医療分野において、210 試験で 18,000 人の患者さんの登録実績から蓄積された IQVIA の臨床試験のノウハウ、前臨床、規制、臨床開発、申請、製造販売後まで横断的体制として豊富な経験を持つ専門家で構成される IQVIA Cell and Gene Therapy Center of Excellence (IQVIA CAGT CoE) と、ネットワーク内の Key Opinion Leader (KOL)、そして革新的デザインの試験へのアクセスを通じ、研究開発の促進を支援してまいります。

京都大学医学部附属病院は、2020 年 4 月に早期臨床試験に特化した次世代医療・iPS 細胞治療 研究センター (Ki-CONNECT「キコネクト」) を設立しました。Ki-CONNECT では、早期医療開発科が中心となり、がんや難治性疾患の克服を目指して、健常者ボランティアを対象とした First-in-human 試験に加え、iPS 細胞治療を含む再生医療や複雑な早期臨床試験を実施しています。

今回の戦略的連携は、IQVIA では、私たちが持つ「For the Patient - 革新的医薬品を速やかに患者さんに届ける」という深いコミットメントの延長線上にある重要な取り組みの一つと位置付けています。

IQVIA について

IQVIA (NYSE:IQV) は、先進的かつ高度な分析機能、変革をもたらすテクノロジー、および臨床試験サービスをライフサイエンス業界の皆さまへ提供する世界的なリーディング企業です。IQVIA は、自社に持つ分析力、革新的なテクノロジー、ビッグデータのリソース、そして広範な事業領域における専門知識により、ヘルスケアのあらゆる側面でインテリジェントな繋がり (intelligent connections) を創出します。私たちは、IQVIA Connected Intelligence™ により、強力なインサイトを迅速かつ変化に対応する機敏性をもってご提供することで、患者の皆さまの医療アウトカムを高める革新的な治療の臨床開発の加速化や、市販化の促進に取り組むお客様をご支援します。現在、私たち IQVIA はおよそ 82,000 人の従業員が世界 100 以上の国と地域で事業を展開しています。

IQVIA は、患者の皆さまの個人情報保護の分野においても世界をリードしており、個人情報を保護するために、プライバシー強化技術や安全対策に取り組んでいます。また、医療関係者の皆さまが疾患のパターンを特定してより優れたアウトカムを実現するために必要な、正確な治療方針や治療法と関連づけに資する規模の情報を、当社では生成・分析しています。IQVIA が持つインサイトや実務実行力は、治療・治癒の道を切り拓くバイオテクノロジー企業、医療機器メーカーおよび製薬企業、医学研究機関、政府機関、保険者やその他様々な医療関係者の皆さまによる、疾患や人間の行動、サイエンスの進歩に対するより一層の理解の深耕をご支援します。IQVIA の詳しい情報はこちら (www.iqvia.com) をご覧ください。日本向けの URL はこちら (www.iqvia.co.jp)

京都大学医学部附属病院について

京都大学医学部附属病院では、(1) 患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する (2) 新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する (3) 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する、という基本理念を元に、安全で安心な医療の提供に取り組んでいます。

新薬の研究や新しい医療技術の開発は、臨床研究中核病院に指定されている京都大学医学部附属病院の重要な使命です。がんや難治性疾患の克服を目指して、京都大学 iPS 細胞研究所と連携し疾患特異的な iPS 細胞を用いた研究に基づく創薬を実現し、またその他の再生医療を含む革新的な治療法の開発に取り組んでいます。

2017 年にはクリニカルバイオリソースセンターを設立し、患者さんや健常者からヒト生体試料 (クリニカルバイオリソース) を効率的に収集・管理・活用し、前臨床試験を促進しています。さらに 2020 年には、次世代医療・iPS 細胞治療研究センター (Ki-CONNENT) を設立し、革新的な早期臨床試験に取り組んでいます。